



生徒に示した食に関するキーワード

活用場面

一斉学習

教師による教材の提示

個別学習

調査活動

協働学習

発表や話し合い

協働での意見整理

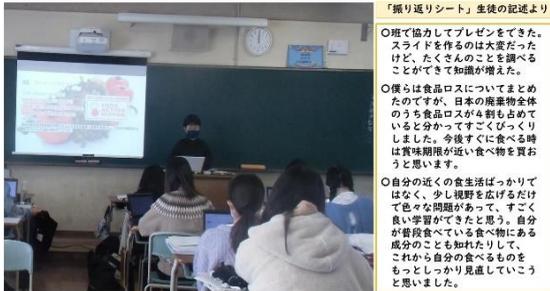
協働制作

活用した機器等

Chromebook
プロジェクター

活用したアプリ等

Google Classroom
Google スライド
インターネット検索



プレゼンテーションの様子と生徒の振り返り記述例

学習のねらい

現代の食生活に関するキーワードについて、調べ、まとめ、発表する。「健康・快適・安全」かつ「持続可能な社会の構築」などの視点から、自分にできることを考えたり、将来の自分らしい食生活の在り方を思い描いたりすることができる。

学習の流れ

導入 食生活のまとめとして教員が提示したキーワードの中から班ごとに重複しないよう言葉を選び、班員の役割分担を決める。

展開 25分程度の限られた時間の中で、班員で協力してインターネット検索や教科書を用いてキーワードを調べ、Google スライド1~2枚にまとめる。

まとめ 各班1~2分でプレゼンテーションを行い、相互評価を行う。最後に、全てのキーワードを俯瞰して捉え、これからの食生活の在り方やよりよい食生活を営むために自分が工夫できることを考え、まとめる。

ココでICTを活用!

班員4人がGoogle スライドを共同編集することで、全員が役割をもち、短時間で効率よく、インターネットなどを使った調べ学習やプレゼンテーションの準備(リハーサル・再編集を含む)、発表を行うことができた。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

自分たちで調べたり、共同編集でまとめたりすることで、互いの発表に関心をもち、生徒の主体的な学びにつながった。各々のキーワードの意味や背景を結び付けて理解したり、自分の食生活について振り返ったり、総合的な探究の時間で取り組んでいるSDGsと結び付けて考えたりする姿が見られた。この部分はこれまで講義で行ってきたが、ICTを活用することで、より深い理解につながり、単元のまとめとして有効であったと感じている。